

# 三郷市立幸房小学校

算 数

単元名 「比べ方を考えよう(1)」

単分量あたりの大きさ 第5学年



これまでの学習の振り返ることのできる算数コーナー



学習に主体的に取り組む児童

## 参会者アンケートから

研究会のあり方・全体的な感想

○授業はしっかりとした意図をもとに展開していくことが大切だということを学ばせていただきました。授業を参観して、自分自身の授業を見直すきっかけになりました。意欲を高める導入や、主体的・対話的で深い学びの視点で授業作りをするための参考になりました。

○ペアで話し合うことやその後の発表、そして話を聞く姿勢がとても素晴らしく、日頃の指導が大切だなと感じました。また、児童が数直線をきちんとかくことができ、学習の積み重ねを感じました。本日の授業のように、児童の興味をひくような問題提示をしたいと思いました。

○児童が生き生きと学習する姿に感動しました。特に、ノートに自分が大切だと思ったことを付け加えながら書くことができていました。教材や教具もとても工夫されていて、これからの授業の参考になりました。

○授業を展開する上で、自分も悩んでいた单元だったので、先生方と意見を交流することができたのは有意義でした。児童の実態をよく把握し、授業作りをしたいと思いました。



児童の意欲を高めるICを活用した導入



課題解決のための見通しを共有

○目の前の児童の実態に合わせた授業の展開の仕方、教師の用意した問題の工夫、自力解決の際の教師の関わり方など大変勉強になりました。

○ペアでの学び合いがとてもよかったです。自分の考えをとなりの児童に伝える際の様子が、どの子も真剣でした。その後、話し合ったことを発表する時にも、友達の考えに付け足しながら発表が進み、学級全体へと学習がつながっていきました。自分の授業にも取り入れたいです。

○見通しをもつことの大切さを感じました。既習のどの学習が使えるのか、児童がしっかり見極めるためにも、教師がどれだけ系統性を意識して学習を展開していくかにかかっていると思います。本時で必要な考えがどの学年の学習内容であったかを把握し授業を展開していくことで、児童に学習内容を定着させることにつながると感じました。

○これまでの経験をもとに、それぞれの学校で取り組んでいることや指導方法を伺うことができ、大変有意義な時間でした。授業分析表を使いながら話し合うことで、話し合う視点がより明確になりました。その中から、導入の大切さや学びの時間の確保の重要性を感じました。今一度、自身の授業を見直し、改善を図っていきたいと思います。

○様々な学校の先生方と話し合うことで、自校でやっていることが、他の学校でも同じなんだと確認することができました。また、自分が考えつかなかった視点も教えていただき、とても勉強になりました。

○ワークショップ型の研究協議では、担任をしている教員だけでなく、少人数指導を担当されている方も同じグループにいたことで、意見交換が活発に行われました。授業を行う上で、児童の実態や気持ちを大切にすることや、事前の準備の重要性を感じました。自分も気持ちを新たにがんばろうと力をいただきました。



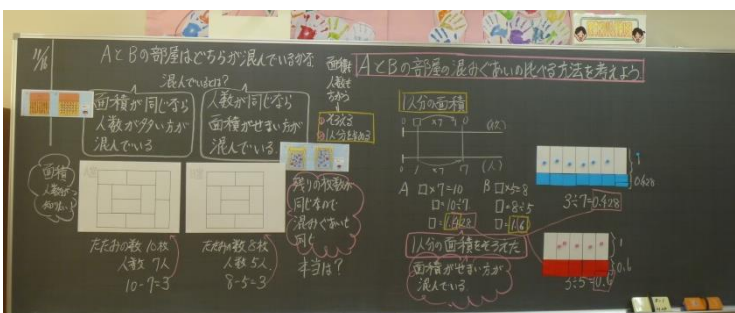
ペアでそれぞれの考えを交流



自分の考えを数直線に表す



熱心な協議



学習内容がひと目で分かる板書



授業分析表